

ウィズ・レター

No.78



木々の緑が目にはやさしい季節になりました。
田植えが終わった庄内平野には、心地よい風がふいています。



6月の
ウィズ講座

ひと ひと
現代社会における女と男の話

♡パートナーとのいい関係って!!♡

相手も自分も笑顔でいるために、夫婦のコミュニケーションについて一緒に考えてみましょう!!

- 日 時：6月18日（木）午後7時～8時30分
- 会 場：交流ひろば 研修室
- 講 師：伊藤 眞知子さん（東北公益文科大学 教授）
- 対 象：どなたでも
- 定 員：20名
- 参加費：無 料
- 申込み、問合せ：6月15日（月）まで、①名前 ②連絡先（電話番号）③参加人数をお知らせください。



7月の
ウィズ講座

『親子でチャレンジ! ガラスアート体験』

親子でつくるキラキラ夏の思い出。今話題のガラスアクセサリ作りチャレンジ!!

- 日 時：7月11日（土）午前10時～11時30分
- 会 場：交流ひろば 交流室
- 講 師：阿藤 淳一さん（7-Colors 鶴岡ガラスアート工房代表）
- 対 象：小学生の子どもと保護者（二人1組）
- 定 員：7組
- 参加費：1家族500円
- 申込み、問合せ：6月16日（火）から受付を開始いたします。
①名前（子どもと保護者）②学年 ③連絡先（電話番号）をお知らせください。



男女共同参画週間 6月23日～29日

男女共同参画社会は、男性も女性も、家庭や職場、学校、地域でそれぞれの個性と能力を発揮できる社会です。「男は仕事、女は家庭」にとらわれず、自分らしい生き方や働き方を選択・実現するためには、一人ひとりの取り組みが必要です。この機会に、私たちの周りの男女のパートナーシップ（協力関係）について考えてみませんか。

平成27年度キャッチフレーズ 地域力 × 女性力 ≡ 無限大の未来



“すべての女性が輝く社会”にむけて、身近な女性の活躍を地域ぐるみで応援するキャッチフレーズを全国から募集したところ、応募総数 2,331 点の中から、「地域力 × 女性力 = 無限大の未来」が選ばれました。女性は社会のあらゆる分野で重要な役割を担っており、誰もが暮らしやすく元気な地域社会をつくるためには女性の活躍・リーダーシップが必要です。これまで男性目線で考えていたことに発想の転換が生まれ、活力ある地域づくりが期待されます。身近な女性の活躍をみんなで応援しましょう。

パネル展のご案内

男女共同参画に関するパネルを展示します。ぜひ、ご覧ください。

- ▼場 所：交流ひろば エントランス
- ▼期 間：6月19日（金）～29日（月）
- ▼内 容：①男女共同参画はやわかり
②すてきな「ふたり」でいるために



「山形いきいき子育て応援企業」募集

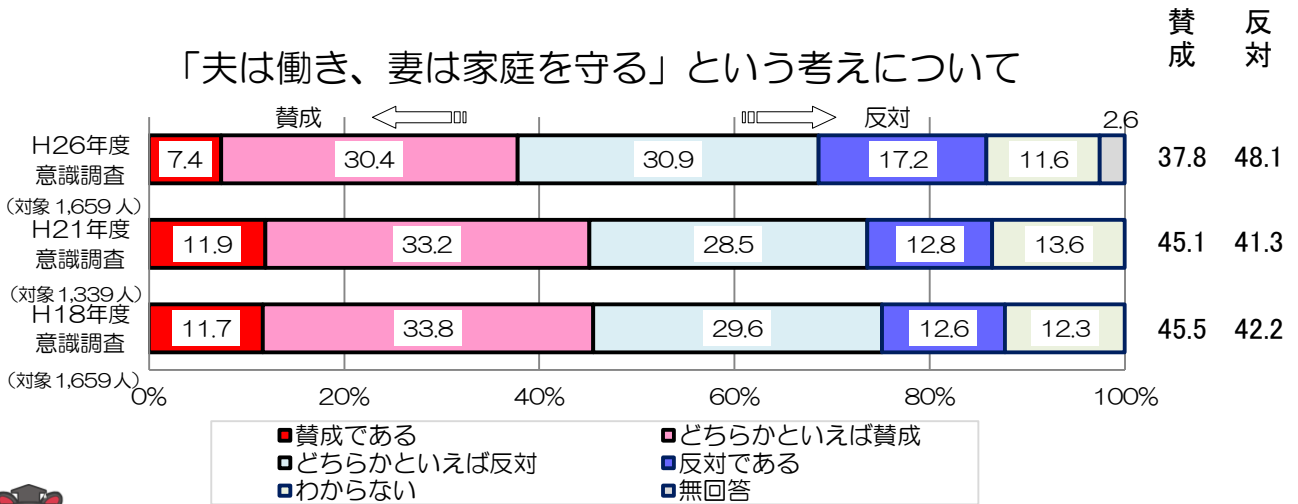
山形県では、「山形いきいき子育て応援企業総合支援事業」を実施し、女性も男性も働きやすい環境の改善に向け取り組んでいます。「女性の活躍促進」や「仕事と家庭の両立支援」などに積極的に取り組む企業（平成27年3月末現在、登録企業数617社）を募集しています。

認定企業へのサポートとして、今年度より小学校就学前の子を養育する女性を雇用した場合に奨励金の交付や女性管理職育成のための研修派遣支援金の交付を新たに設けました。詳しくは、山形県ホームページをご覧ください。

http://www.pref.yamagata.jp/kenfuku/danjou/kigyo/8010003work_of_bosyu.html

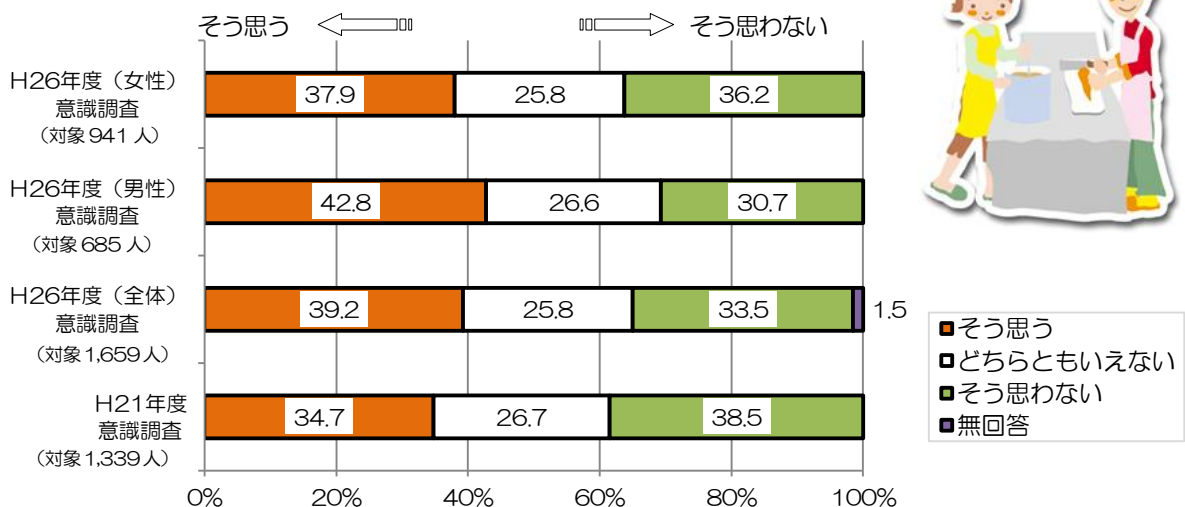
平成26年度ワーク・ライフ・バランスおよび男女共同参画に関する県民意識調査結果

山形県が昨年実施した、男女共同参画に関する意識調査の結果がまとまりました。今回は、「夫は仕事、妻は家庭を守る」という固定的な役割意識についてと、仕事と家庭の両立「ワーク・ライフ・バランスの実践」について結果を掲載します。



“賛成である”と“どちらかといえば賛成”を合わせた『賛成』が、“反対である”と“どちらかといえば反対”を合わせた『反対』を、前回（H21年度）・前々回（H18年度）と比較して、初めて下回りました。

「ワーク・ライフ・バランスの実践」について



家庭生活、仕事、地域活動のそれぞれに関わり、バランスのとれた生活を過ごしていると思うかと尋ねたところ、全体では“そう思う”と“回答された方が約4割となり、前回（H21年度）より、4.5ポイント高くなりました。

（資料：山形県「平成26年度ワーク・ライフ・バランスおよび男女共同参画に関する県民意識調査報告書」）

男女共同参画 ちよこつと★

母の日に合わせて「お母さんにやさしい国ランキング2015」が、子ども支援の国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン」から発表されました。このランキングは、妊産婦死亡の生涯リスク、5歳未満児の死亡率、公教育の在籍年数、国民1人当たりの所得、女性議員の割合などを総合的に勘案し、179カ国を対象としています。

結果は、1位ノルウェー、2位フィンランド、3位アイスランド、4位デンマーク、5位スウェーデンと北欧諸国が上位にランクインしました。日本は妊娠・出産で母親が命を落とすリスクの低さや、5歳未満の子供の死亡率の低さなど母子の健康状態では順位が高いものの、女性議員の割合が低い順位にあることから、日本は32位にとどまりました。

詳しくは、NGO「セーブ・ザ・チルドレン」ホームページをご覧ください。

><http://www.savechildren.or.jp/scjcms/press.php?d=1956>



マザーズおしごと相談会in庄内の開催について

山形県では、これから働こうとする女性一人ひとりのニーズに応じた就業のワンストップ支援窓口「マザーズジョブサポート山形」の相談員が各ハローワークに出張し、セミナーの開催や仕事と家庭の両立に関するお悩みなどに対する「マザーズおしごと相談会」を開催します。お子様と一緒に、お気軽にご参加ください。

【開催日】6月22日（月）、7月13日（月）

【会場】ハローワーク酒田（酒田市上安町1-6-6）

【対象】就職を考えている子育て中の女性

- ・仕事と子育ての両立に不安をお持ちの方
- ・離職からのブランクが長く、不安をお持ちの方
- ・そろそろ働きたいと考えているが、漠然とした不安をお持ちの方 など

【内容】10:30～12:00 セミナー「ママの自分探し～ワタシを探そう!～」(要申込)

12:00～15:00 個別相談会

※いずれの開催日も同一の内容です。セミナーのみ、相談会のみ参加も可能です。

【問合せ】マザーズジョブサポート山形（電話）023-665-5915

酒田市男女共同参画推進センター ウィズ

開館 月～土／9:00～22:00、日・祝／9:00～17:00

相談 月～金／9:00～16:00

〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5 交流ひろば内

Tel／0234(26)5616 Fax／0234(26)5617

E-mail／with@city.sakata.lg.jp

